

学習内容報告書

学校名	愛知県蒲郡市立西浦小学校
授業者	市川三咲

1. 単元計画

1-1. 単元名

「生きもの はっけん」

1-2. 学年

第2学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

生活科

1-4. 単元の概要

学区探検で、本校の学区の特徴である海を訪れて磯遊びを行う。その磯遊びでつかまえた生きものを、適切な方法を知り飼育する。



1-5. 単元設定の理由・ねらい

本校は、海に囲まれた地域であるが、実際に海に出かけて活動した経験をもっている子は少ない。子どもたちが興味をもっている海の生きものの飼育を通して、地域の宝である海に親しみを感じたり海の豊かさを実感したりできる子にしたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・本校の子どもたちにとって身近である海について知り、親しみをもつことができる。また、海の生きものとふれあうことで、海のよさやすばらしさ、自分たちの地域のよさや愛着を感じることができる。
- ・海の生きものの飼育活動を通して、環境づくりやエサなど、生きものに合わせた方法が必要であることを知ることができる。

1-7. 単元の展開（全9時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
3	<ul style="list-style-type: none"> ・学区探検で竜田海岸へ行く。 ・磯遊びの中で、海の生きものを採集する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・磯で活動するときに、気をつけることを事前指導する。 ・ヤドカリやカニなどがいる場所に合った採集方法について、既知のことがらを関連づけて考えたり情報交換したりして、生きものを採集できたか評価する。
1	<ul style="list-style-type: none"> ・採集してきた生きものの環境を整える。 	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・生きものにとってよりよい環境にするために、どのような飼育をするとよいか話し合う。 ・エサの種類や頻度など、分からないことは本やインターネットで調べる。 ・話しあったことや調べたことをもとに、飼育環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本やインターネットから必要な情報を探したり、話し合いの意見を聞いたりすることで、飼育環境を整えることができたか評価する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末にあたり、生きものをどうするとよいか話し合う。 ・自分たちが決めた方法（飼育の継続ならば責任をもって飼育を続ける／海へ返すのであれば海へ出かける）を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生きものにとってどうすることがよいか、という視点で話し合う。

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

2-2. 本時の目標

話し合いを通して、生きものに合った飼育環境を知り、整えようとする意欲を高めることができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>1 自分が飼育している生きもの（ヤドカリ、カニ）の飼育環境についてふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none">・元気がよく動いているから、幸せそう。・エサを食べないから、元気がなくて幸せじゃないと思う。・壁を上っているから、逃げたいのかも。 <p>2 生きもの（ヤドカリ、カニ）にとって、どんな水槽が良いか考える。</p> <ul style="list-style-type: none">・海で岩の下にいたから、隠れるところがあると思うな。・水は濁ったら、替えないといけない。・エサをあげる。売っているよ。・エサは野菜を食べるって聞いたことがあるよ。・エサをあげすぎると水が汚くなるから、あげすぎはだめ。・どんなエサがいいのかな。・絵本の部屋に、本があったから調べれば分かるかも。 <p>3 わかったこととわからないことを確認する。</p> <p><わかったこと></p> <ul style="list-style-type: none">・水は汚くなる前に替える。・ヤドカリやカニが隠れられる石などを入れる。・エサはやりすぎない。 <p><わからないこと></p> <ul style="list-style-type: none">・水替えは、どのくらいで替えるといいのか。・エサはどんなものを食べるのか。 <p>4 話し合いをしてわかったことをふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none">・話し合いをして、石を入れることが分かったよ。ヤドカリが安心できるように、今度石を拾ってきて入れたいな。・ヤドカリが好きなエサを調べたいです。たくさん食べて元気になってほしいな。	<ul style="list-style-type: none">・自分の水槽や生きものの状態を把握させるために、「ヤドカリが幸せかどうか聞いてみましょう」と呼びかけて、自分が飼育している水槽を観察させる。・与えるエサについて、市販のエサを挙げるのが予想される。ヤドカリやカニにとって、「海にいた時に近いことが、よい環境」という点に気づかせ、よりよいエサや環境を考えたり選んだりすることができるようにする。 <p>【評価】</p> <p>水生生物を飼育した経験や既知のことがらをもとに、話し合いを通して生きものにとってよい環境を考え、知ることができたか。</p> <ul style="list-style-type: none">・生きものに合った飼育環境を整えることの大切さを広めるために、飼育環境の改善への意欲を示した児童を指名し、発表させる。

3. 今回の活動の自己評価

- 水槽を1人に1つ（後に2人に1つ）用意することで、「自分のヤドカリ・カニ」という愛着をもって飼育することができた。また、思いついたことや考えたこと、調べたことを、自分の水槽で気軽に試すことができた。
- 水槽を教室に置いて生きものを飼育することで、頻繁に様子を観察したり手軽に世話に取りかかったりすることができた。また、1日の中で頻繁に観察することで、「ヤドカリが貝殻を引っ越した!」「カニはエサをハサミでもって食べてる」など、子どもなりの発見をすることができた。
- 友達が同じ生きものを飼育していることで、相談したり友達のよさを取り入れたりすることができ、飼育方法が精選された。

4. 今後の課題

- ヤドカリやカニは採集や飼育がしやすい一方で、特にヤドカリは小さいため、成長の様子や変化などを見つけにくかった。飼育する中で成長や変化を簡単に見つけ、より愛着や飼育する喜びにつながるような飼育方法や生きものの採集・飼育を検討したい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

単元構想の中に写真を使用している。万が一、外部の目にふれるような活用をされる場合は、個人が特定されないような加工をしていただきたい。